

CSRへの取り組み

住江織物グループの経営理念とCSRの体系

会社の目的

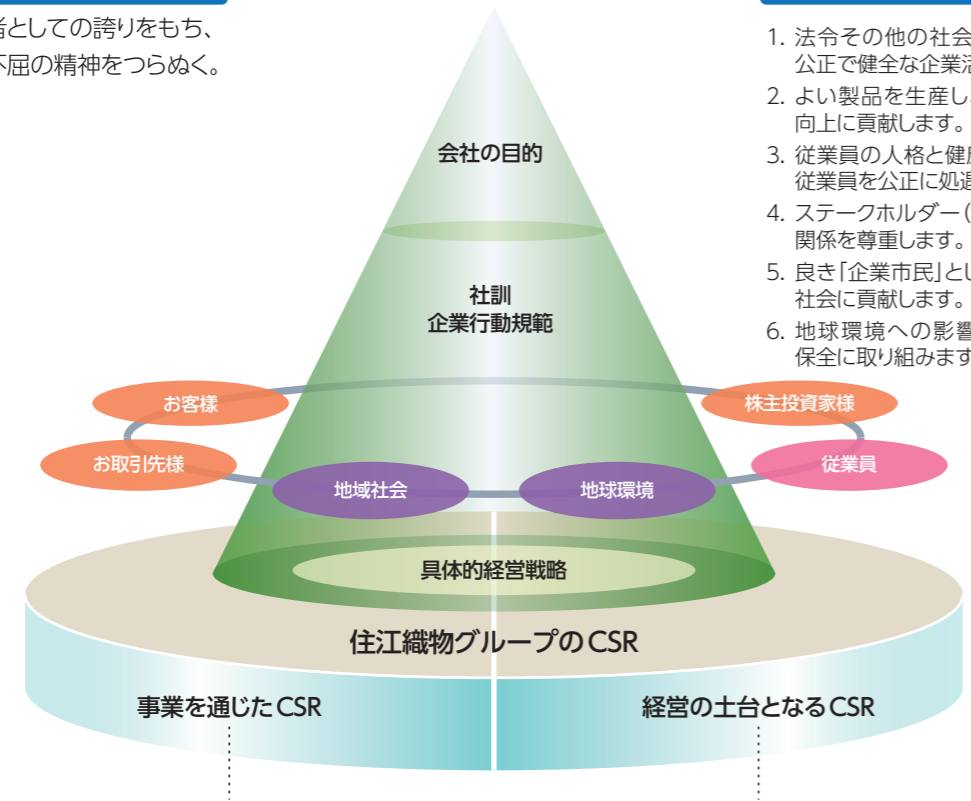
よい製品を生産し、販売し、社業の隆盛をはかり
社会の向上に貢献する。

社訓

業界の先駆者としての誇りを持ち、
和協、誠実、不屈の精神をつらぬく。

企業行動規範

1. 法令その他の社会的規範を遵守し、公正で健全な企業活動を行います。
2. よい製品を生産し、販売し、社会の向上に貢献します。
3. 従業員の人格と健康・安全に配慮し、従業員を公正に処遇します。
4. ステークホルダー(利害関係人)との関係を尊重します。
5. 良き「企業市民」として積極的に地域社会に貢献します。
6. 地球環境への影響を重視し、環境保全に取り組みます。



- KKR+A(健康・環境・リサイクル+アメニティ)を中心とした、地球環境・社会に貢献し、人々の暮らしや気持ちを豊かにする商品を提供する。
- グローバル戦略を推進し、当社の製品が多くの人々にご使用いただくこと、KKR+Aを世界各地に広げていくことを目指す。

- 公正で透明性の高いガバナンス体制を確立する。
 - コンプライアンス*(法令遵守)を徹底し、高い倫理観をもって企業活動を行う。
 - 従業員の働きやすさ・多様性に配慮するとともに、価値ある仕事を通じて成長することを支援する。
- *コンプライアンス:企業が法律や企業倫理を遵守した判断や行動をし、社会からの期待や信頼に応えること。

ステークホルダーとのコミュニケーション

私たちはCSR活動方針に基づき、以下の通り価値を提供していくことで、ステークホルダー(利害関係人)の皆様との良好な関係を構築するとともに、地球環境に寄与し次世代への責任を果たしてまいります。

お客様	お取引先様	株主投資家様	地域社会	従業員	地球環境
お客様の声に真摯に向き合い誠実な対応を心掛けます。お客様とともに快適な空間を作り上げることが私たちの喜びとし、信頼を得ることを目指します。また、品質向上の取り組みを推進してまいります。	お取引先様との関係を大切に、共にお客様への対応力の向上を目指してまいります。価格・品質・納期など合理的な基準によって選定を行い、公正で対等な取引に努めます。	適正な利益の確保により、株主・投資家の皆様へ還元することを目標としてまいります。IR活動により、積極的な情報開示を進めてまいります。	各国、また地域社会との交流を深め、文化・歴史を理解するとともに、社会貢献活動を行ってまいります。	従業員一人ひとりの人格や個性を尊重し、働きやすい職場環境を整備してまいります。また、能力を最大限に発揮し、課題を解決していこうという従業員の想いに応えてまいります。	地球環境の維持と改善の一助となる魅力的な環境商品・技術を生み出すことに力を注ぎます。また、事業活動を通じ環境負荷低減活動(省エネルギー、省資源、廃棄物削減など)に努めてまいります。

CSR活動方針

住江織物グループでは、「事業を通じたCSR」と「経営の土台となるCSR」を両輪としてさらなる企業価値の向上、広く社会からの信頼を得ることを目指します。

CSR計画

この先の未来も成長していくため、中長期的な「ありたい姿」を見据えESG経営を念頭に置いた中長期経営目標とともに、第3次CSR中期計画を策定し、重点課題を特定し、その解決のための取り組みを進めています。

住江織物グループが注力するSDGsの7つの目標

ジェンダー平等を達成しよう	ジェンダー平等の達成と、すべての女性の能力を強化	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	すべての人々に持続可能なエネルギーを	働きがい、経済成長、雇用	持続可能な経済成長、働きがいのある雇用の促進	産業と技術革新の基盤をつくろう	強靱なインフラ構築、持続可能なイノベーションの促進
住み続けられるまちづくりを	持続可能な街づくりを実現	つくる責任、つかう責任	持続可能な生産消費形態を確保	気候変動に具体的な対策を	気候変動およびその影響を軽減		

第3次CSR中期計画(計画期間:2021年6月~2024年5月)

ESG項目	重点課題	施策(取り組み)	関与するSDGs
G	1 コーポレートガバナンス	●公正な事業活動の推進 ●グローバル・リスクマネジメントの強化 ●歩き回る経営 ●社外取締役による経営の意思決定の強化	
G	2 コンプライアンス	●コンプライアンス研修の継続実施 ●ハラスメント防止研修の実施 ●リスクマネジメント	
G	3 公正な事業慣行	●業務に関わる法務教育の実施 ●グリーン調達ガイドラインに基づく調達の推進	
G	4 事業継続計画	●災害時、パンデミックにおけるBCP対策	
S	5 人材育成・働き方	●教育研修の充実 ●多様性の尊重 ●ワーク・ライフ・バランス	
S	6 労働安全衛生	●健康経営の推進 ●長時間労働是正、有給休暇取得率のアップ ●労働災害の防止	
S	7 社会貢献活動	●地域への社会貢献活動 ●環境関連の社会貢献活動	
S	8 全方向コミュニケーション	●会社方針の経営層と従業員による共有 ●情報の適時開示	
E	9 環境負荷低減	●地球温暖化防止(CO ₂ 削減) ●環境汚染防止 ●環境負荷低減製品開発 ●エコチャレンジ	

当社グループとして取り組むべき課題を特定した上で、「重点課題」を特定し、施策(取り組み)を策定しています。また、ESG項目と、SDGsとの関連性も整理しています。

* ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字を取ったものです。今日、長期的な成長のためには、この3要素の観点が必要だという考えが世界に広がっています。

CSRへの取り組み

2020年度のCSR活動実績

ISO26000を参考ガイドラインとし、7つの取り組み分野に分け、中期的な取り組みを掲げています。

2020年度の実績は次のとおりです。

A:達成 B:ほぼ達成 C:未達成

取り組み分野	関連ページ	重点項目	主なテーマ	2020年度の取り組み目標	2020年度実績	自己評価
ガバナンス・コンプライアンス	P.27 ~ 30	コーポレートガバナンス	公正な企業活動の推進のために、取締役会・監査役会および各種委員会での検討	<ul style="list-style-type: none"> 取締役会・監査役会の開催 CSR推進委員会での活動計画の審議 	<ul style="list-style-type: none"> 取締役会を9回、監査役会を9回開催 CSR推進委員会を3回開催し、活動計画を審議 コーポレートガバナンス・コード改訂に対する報告書(2020年9月) 	A
			評価範囲内対象会社について、財務報告に係る内部統制の有効性を評価	<ul style="list-style-type: none"> 内部統制有効性評価において、開示すべき重要な不備件数0件とする 	<ul style="list-style-type: none"> 財務統制委員会を中心とした活動実施【実績:開示すべき重要な不備件数0件】 	A
		コンプライアンス	住江織物グループ行動規範および行動基準の浸透	<ul style="list-style-type: none"> 役員対象コンプライアンス研修の実施 各階層別研修でのコンプライアンス研修 新入社員へのコンプライアンスガイダンス配布および基礎知識講習 コンプライアンス情報を適時イントラネットでアップ【計画比実施率:100%】 	<ul style="list-style-type: none"> 各階層別研修(マネジメント職 監督職昇格指導職昇格研修時) 新入社員研修でのコンプライアンス研修実施【計画比実施率:100%】 コンプライアンス研修実施(役員研修1回、コンプライアンスワークショップ1回) 	A
			コンプライアンスに関するモニタリングの継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ローテーションによるコンプライアンス監査の実施【計画比実施率:100%】 	<ul style="list-style-type: none"> ローテーションによるコンプライアンス監査の実施【計画比実施率:100%】 ※国内事業会社2社に実施 	A
		ホットラインの周知	<ul style="list-style-type: none"> 公益通報者保護法改正対応 新規入社者へのホットライン周知 階層別研修、ハラスメント防止研修の機会を捉え、ホットライン周知【目標:100%】 	<ul style="list-style-type: none"> 公益通報者保護法改正対応未実施 ⇒ 来期での実施 新規入社者への周知の実施 階層別研修、新入社員研修、コンプライアンスワークショップを通じてホットラインの周知【実績:100%】 	B	
事業履行	—	公正な取引	契約状況の見える化・取引に関する法務教育およびモニタリングを実施	<ul style="list-style-type: none"> 下請法など法務知識の情報発信 内部監査実施【計画比実施率:100%】 	<ul style="list-style-type: none"> 「下請事業者との取引に関する調査」への回答対応 下請取引に関する注意点をイントラネットで発信 内部監査実施(前期計画) 	A
	—	グリーン調達	グリーン調達ガイドラインの推進	<ul style="list-style-type: none"> サプライヤーへのガイドラインの配布と帳票の回収【目標:年1回】 	<ul style="list-style-type: none"> サプライヤーへのガイドラインの配布と帳票の回収 	A
人権・採用・人事処遇・育成	P.33 ~ 34、 37 ~ 38	多様性の尊重	多様性を尊重し、働きやすい職場づくりを実施	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者雇用率達成比率のアップ 育児支援制度、介護支援制度の充実 ワーク・ライフ・バランス推進(ノー残業デー推進、有給休暇取得率のアップ) 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者雇用率達成比率のアップ 未達成 ノー残業デー推進の継続 有給休暇取得率のアップ 育児支援マニュアルの作成と案内 	C
			自らの能力向上の支援としての集合教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> 階層別・テーマ別研修の実施と内容の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 階層別・テーマ別研修の実施と内容の充実 スキルアップ研修と仕事効率アップセミナーの実施 	A
		人材育成	グローバル人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 赴任前教育の実施 語学研修の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> 語学自己啓発研修の定期的な案内 	B
			女性活躍	<ul style="list-style-type: none"> 女性社員を積極的に採用 異業種社外セミナーや外部勉強会への派遣 活躍している女性社員の紹介 ロールモデルとの座談会実施 ジョブリターン制度の運用とグループ展開 	<ul style="list-style-type: none"> 女性社員の採用比率(新卒) 41% 女性活躍サポートフォーラムの21世紀塾、管理職研修への参加(4名) CSRレポートでの女性活躍社員紹介 	B
		人材活性化	<ul style="list-style-type: none"> 「コミュニケーションヒアリング」の各拠点での実施 「次世代育成面談」の実施 「ランチミーティング」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「コミュニケーションヒアリング」の各拠点での実施 「次世代育成面談」の実施 対象者6名 「オンライン座談会(仕事・育児・家事の両立)」の実施 	A	
安全・防災・健康	P.35 ~ 36	労働安全衛生	社員の安全を守るための活動計画を推進	<ul style="list-style-type: none"> 中央安全衛生部会による意見集約と情報の共有化 労働災害情報の共有化 休業件数での労働災害発生率目標:1.0以下 安全教育の実施 リスクアセスメントの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 中央安全衛生部会による意見集約と情報の共有化 労働災害情報の共有 各グループ会社の安全衛生推進体制の再整備 安全衛生教育資料の共有 新入社員研修に安全衛生教育を導入 リスクアセスメントの推進(危険箇所の改善前・改善後の状態を記録することを徹底) 	B
			<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の実施【計画比実施率:100%】 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の実施 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、WEB訓練実施(本社ビル)【計画比実施率:100%】 	A	

取り組み分野	関連ページ	重点項目	主なテーマ	2020年度の取り組み目標	2020年度実績	自己評価
安全・防災・健康	P.30	労働安全衛生	社員の健康を保持するためのケアを実施	<ul style="list-style-type: none"> ハラスメント防止研修の継続実施 ハラスメント相談窓口の広報促進 	<ul style="list-style-type: none"> 各階層別研修(マネジメント職、監督職昇格、指導職昇格研修)時 新入社員研修でのコンプライアンス研修実施【計画比実施率:100%】 ハラスメント対策に関わる改正法と指針をイントラネットで開示 	B
	P.34			<ul style="list-style-type: none"> 時間外労働時間の管理、把握 時間外労働の多い従業員との面談実施 業務改善の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 時間外労働時間の定期的なチェック、タイムレコーダーとの乖離の確認と指導 コロナ禍での時差出勤、在宅勤務の実施継続 	B
	—			<ul style="list-style-type: none"> 健康管理の推進 	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザ予防接種補助金支給 各拠点・事業所での新型コロナウイルス感染症防止策の継続実施 	A
リスクマネジメント	P.32	BCP	災害時、パンデミック時の事業継続計画推進	<ul style="list-style-type: none"> 他事業所での安否確認訓練実施 本社事業所におけるBCP訓練の実施 安否確認方法の改善を検討 パンデミック時の感染防止策、ガイドライン策定 	<ul style="list-style-type: none"> (株)スミノエでの安否確認訓練実施 本社事業所におけるBCP訓練の実施 コロナ禍での在宅勤務ガイドライン策定 	A
	P.31 ~ 32	知的財産権	知的財産権への理解促進	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産権に関する啓発活動の実施(社内イントラネット・研修)【計画比実施率:100%】 	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産権に関する啓発活動の実施(社内イントラネット 年5回) ※知的財産NEWSとして【計画比実施率:100%】 	A
	P.32	情報セキュリティ	情報セキュリティ教育の実施(情報端末セキュリティ、個人情報保護)	<ul style="list-style-type: none"> 情報管理規程の改定と体制整備 秘密情報の再確認 営業秘密に関する勉強会の実施 各階層研修での情報セキュリティ教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 情報管理規程・情報機器管理規程の改定 営業秘密管理強化・秘密情報範囲・管理ルール説明会の実施 情報端末パスワード設定条件の再策定 	A
	—	インサイダー取引防止啓発活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> インサイダーに関する啓発活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> インサイダー取引防止規程改定 	A	
消費者・社会貢献活動	—	品質向上	品質向上の取り組み推進	<ul style="list-style-type: none"> 品質保証合同会議の定期開催 品質向上(不良品低減、品質損失金額低減活動) 化学物質規制に関する状況共有の取り組み継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> 品質保証合同会議の定期開催 年4回 品質向上(不良品低減、品質損失金額低減活動) 化学物質規制に関する状況共有の取り組み継続実施 	A
	—	顧客満足の向上	お客様対応と社内への展開	<ul style="list-style-type: none"> お客様センターへの問い合わせ内容のCSR推進委員会への報告 クレーム内容と対応結果の分析 お客様の声を活かした商品開発 	<ul style="list-style-type: none"> お客様センターへの問い合わせ:2,935件 そのうち、商品・規格・価格・機能性に関する問い合わせ15%(428件)、ご指摘が2%(62件)ご指摘については、内容を分類した後、原因を分析し、次回の商品開発に活用 	B
	—	情報開示	適正なIR情報の開示	<ul style="list-style-type: none"> 企業活動におけるIR情報の適時開示 決算短信 4半期ごとに東証への適時開示および自社HPに掲載を遅滞なく実施 	<ul style="list-style-type: none"> 決算説明会 東京・大阪で年2回の実施 決算短信 4半期ごとに東証への適時開示および自社HPに掲載を遅滞なく実施 	A
	P.6 ~ 8	外部コミュニケーション	ステークホルダーとのコミュニケーション促進(当社の強みのPR)	<ul style="list-style-type: none"> 外部コミュニケーションの実施 CSRブランド向上の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 中長期経営目標「SUMINOE GROUP WAY 2022~2024~2027」を策定、2021年7月発表 ESGに係る活動をまとめたESGレポートを2021年5月に発行 オンラインによる施工など講習会の開催:ルノン(株) 第7回医療と介護の総合展 大阪に出展 第89回 東京インターナショナル・ギフト・ショー春2020出展 住江織物(株) 織カーペットの歴史展開催:東京シヨールーム 「2020年 SUMINOE オンライン展示会」をHP上にて開催:(株)スミノエ 	A
環境	P.39	社会貢献活動	地域への貢献 環境関連の社会貢献活動実施	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 地域への貢献、環境関連の活動は継続実施 5拠点で確認 	B
	P.40 ~ 45	事業活動における環境負荷の低減	地球温暖化防止	<ul style="list-style-type: none"> エコチャレンジ2021行動計画にて設定 	<ul style="list-style-type: none"> 使用エネルギーからのCO₂排出量は、削減されるも目標未達 再生資源利用は目標達成 産業廃棄物発生量は目標未達(削減の原単位は2019年度基準とする) 	B